



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3541-5151 (代表)
担当者の所属・氏名 女性総合診療部 金城 国俊

【研究責任者】

聖路加国際病院 女性総合診療部 金城 国俊

【研究代表者】

東海大学医学部専門診療学系産婦人科学 准教授 吉田 浩

本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術（MIS）の実態調査

1.研究の対象

2015年1月1日～2017年12月31日までの間に、当院で子宮体癌についての手術を受けられた方

2.研究の目的・方法

子宮体癌の治療には低侵襲手術（腹腔鏡やロボット支援下手術）が広く行われるようになってきましたが、本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術（MIS）治療の実態（これまでの実施数、手術適応、手術術式、腫瘍学的予後、どのような施設で実施されているのかなど）を解析し、現状を把握することにより、問題点を明らかにし、今後の子宮体癌に対するMISのより適切で安全な普及を図ることを目的としています。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2023年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

＜情報＞ 術式の詳細、術前診断、術後補助療法の有無、病理結果、再発の有無・再発日・再発場所（局所・遠隔・実際の場所）等

4.外部への試料・情報の提供

データ入力ファイルに調査事項を記入し、データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。データと研究の対象の方との対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5.研究組織

【研究代表機関と研究代表者】

東海大学医学部専門診療学系産婦人科学 准教授 吉田 浩

【既存資料・情報提供機関】

日本産科婦人科学会腫瘍登録事業の全施設